

令和 2 (2020)年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	合成糖鎖と糖鎖再構築モデルによる糖鎖機能の解析と免疫制御
研究代表者	深瀬 浩一 (大阪大学・大学院理学研究科・教授) ※令和 2 (2020)年 9 月末現在
研究期間	令和 2 (2020)年度～令和 6 (2024)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>【課題の概要】</p> <p>本研究は、均一な糖鎖の化学合成により糖鎖認識に関与する受容体との相互作用解析で、糖鎖と免疫機能の関係に関して研究代表者が行ってきたこれまでの基礎的な研究成果を、セルフアジュバントワクチン開発や N-グリカンの機能解明等を通じて糖鎖を基盤とする免疫制御分子を開発する研究に展開するものである。がんや炎症性疾患に関する新たなワクチンや治療薬開発のための基礎的な研究であり、また、化学者と医学研究者の研究組織により実施される学際的な研究である。</p> <hr/> <p>【学術的意義、期待される研究成果等】</p> <p>糖鎖化学の合成研究から免疫に関する医学的基礎研究に展開する学術的意義の高い研究であり、糖鎖を基盤とする種々の免疫制御分子の開発を達成することにより、当該分野での化学と基礎医学の学際的領域において波及効果の高い新しい学理探究の研究成果が期待される。また、がんや炎症性疾患に関する新たなワクチンや治療薬開発につながる重要な知見の獲得も期待される。</p>